

地域緑のまちづくりニュース

2015年3月発行

vol.5

発行：湘南桂台みどりの会

湘南桂台地区の中心であるセンターゾーンの緑化計画については

- 公共施設に関しては、桂台保育園、桂台小学校、桂台中学校、ならびにスポーツ広場の外周の植栽、および桂台地域ケアプラザの花壇のオープンガーデン化等
 - 民有地に関してはイトーヨーカドー周囲のオープンスペース、コンビニの周囲、富士見通り沿いの店舗、郵便局、病院への植栽、プランターの設置等、ならびに訪問の家関連施設の花壇のオープンガーデン化等
- を検討していますが、その内公共施設関連の基本計画がまとまりました。

この基本計画に従って、来年度（平成27年度）より実施設計、緑化整備が進められます。尚、富士見通り、桂台通り、ならびに緑道に関しては今後更に計画を詰めていきます。

① 桂台保育園

① 外周フェンス周りの緑化

- ・フェンスをセットバックして歩道側に植栽地を設置し、歩きながら花や緑を楽しめる空間とする。
- ・植栽種は足元を彩る地被植物と、フェンス緑化のつる植物を組み合わせる。
- ・フェンスは緑化用フェンスとし、十分な強度のあるものを選定する。

② 北東角地（エントランス横）の緑化

- ・フェンスと壁に囲まれ、管理しづらいために荒れた印象になっている植栽地を緑化改修する。
- ・植栽種は対面の中学校南東角地と合わせ、街の統一感を演出する。

③ 菜園の整備

- ・擬木等で囲いを設けて菜園を設置し、園児が収穫体験できる空間をつくる。

*尚「地域緑のまちづくり事業」とは別に「子どもを育む事業」の一環として園庭の芝生化が3月6日に実施されました。

② 桂台小学校

① 富士見通り沿いの緑化

- ・連続的な緑をつくり、センターゾーン全体のイメージアップを図る。
- ・境界部のフェンスをセットバックし、植栽地を歩道側に設けることで歩きながら花や緑を楽しめる空間とする。同時に、視覚的に幅員が広がることで、ゆとりある歩行空間とする。
- ・植栽種は比較的踏圧に強いものを選択する。また既存樹の下になる部分には日陰に耐える種を選択する。

② 北東角地（エントランス横）の緑化

- ・有効に活用されていない東側沿道の緑量を増やす。
- ・児童が楽しみながら緑と触れ合えるよう、花や実のなる樹木を導入する。

地域緑のまちづくり事業
公共施設関連の基本計画がまとまりました！

公共施設緑化基本計画

●桂台保育園

- ・外周フェンス周りの緑化
- ・北東角地(エントランス横)の緑化
- ・菜園の整備
- (別事業:園庭の芝生緑化)



●桂台中学校

- ・外周植栽地の緑化
- ・校門周辺の花壇設置
- ・アイストップとなる南東角地の緑化



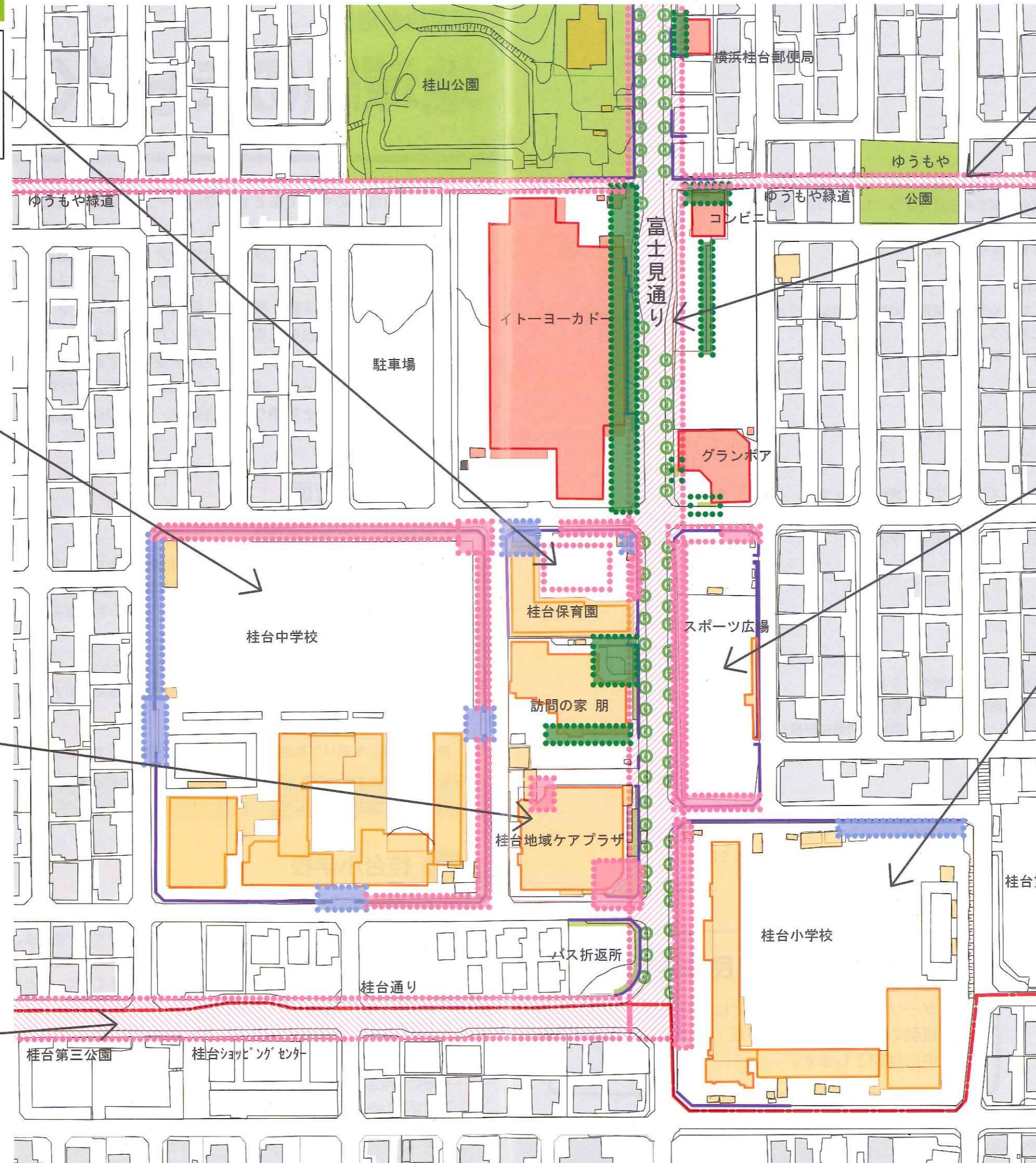
●桂台地域ケアプラザ

- ・富士見通り沿い花壇の再整備
- ・エントランス周辺の緑化



●桂台通り

- ・街路樹の再整備



●あさもや緑道、ゆうもや緑道

- ・植栽帯の再整備

●富士見通り

- ・街路樹の再整備



●スポーツ広場

- ・外周の緑化

●桂台小学校

- ・富士見通り沿いの緑化
- ・東側沿道の緑化



凡例

<公共施設>	
	緑化計画対象地(優先度:高)
	緑化実施済み
	緑化計画対象地(優先度:低)
<民間施設>	
	緑化計画対象地
	緑化実施済み
<共通>	
	既存緑地、植栽地
	計画区域境界線

0 10 20 50(m)

3 桂台中学校

① 外周植栽地の緑化

- ・歩きながら花や緑を楽しめる空間とする。
- ・現況は、スイセン、ヒガンバナなどの球根類や一年草が植えられているが球根類の地上部が無い季節も殺風景にならず、また既存擁壁の景観を和らげるよう、常緑のつる性植物や地被植物を補植する。
- ・植栽種は狭小で乾燥しやすい環境に耐えるものを選択する。

② アイストップとなる南東角地の緑化

- ・学校外周の中で比較的通行量が多く、目につきやすい南東角地の植栽地は街のイメージに合わせて花やカラーリーフによる補植緑化を行う。
- ・植栽種は狭小で乾燥しやすい環境に耐えるものを選択する。



4 スポーツ広場

① 外周の緑化

- ・センターゾーンの重要な景観要素となっているスポーツ広場の擁壁を緑化する。
- ・モデル緑化で植栽したクレマチスなどに加え、花や実が楽しめるつる植物や下垂する地被植物を植栽する。
- ・擁壁の高さが高く管理が難しいため、性質が強建な植物を選択する。

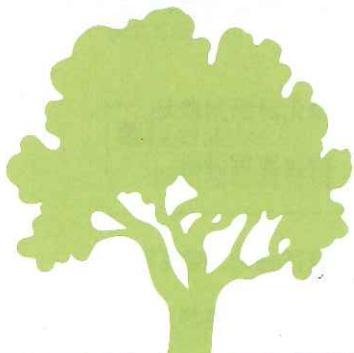
5 桂台地域ケアプラザ

① 富士見通り花壇の再整備

- ・富士見通りを歩く人が花や緑による潤いを感じられる空間をつくる。
- ・バス停付近は、繁茂した宿根草を整理し、地被植物等の補植を行う。
- ・成長した樹木と低木類が閉鎖的な印象を与えていため、低木類は建物側に移植し、目線の高さに合わせた多層的な配植として立体感を持たせる。

② エントランス周辺の緑化

- ・施設の顔であり、来所者の集いの場となるエントランス部を花や緑のある、くつろげる空間とする。
- ・エントランスにふさわしい彩りを演出するため、舗装上に設置が可能なメッシュプランターなどを活用する。
- ・日当たりがやや悪いため、カラーリーフなど日陰に耐える植栽種を選択し、花壇スペースを設ける。



センターゾーンの民有地緑化

センターゾーンの民有地関連では、セブンイレブンの緑道側の植栽と郵便局の植栽・プランター設置は3月中には完了します。